

SPIRAL

Annual Report

2014

Exhibition

Dance / Performing Arts

Lecture & Workshop

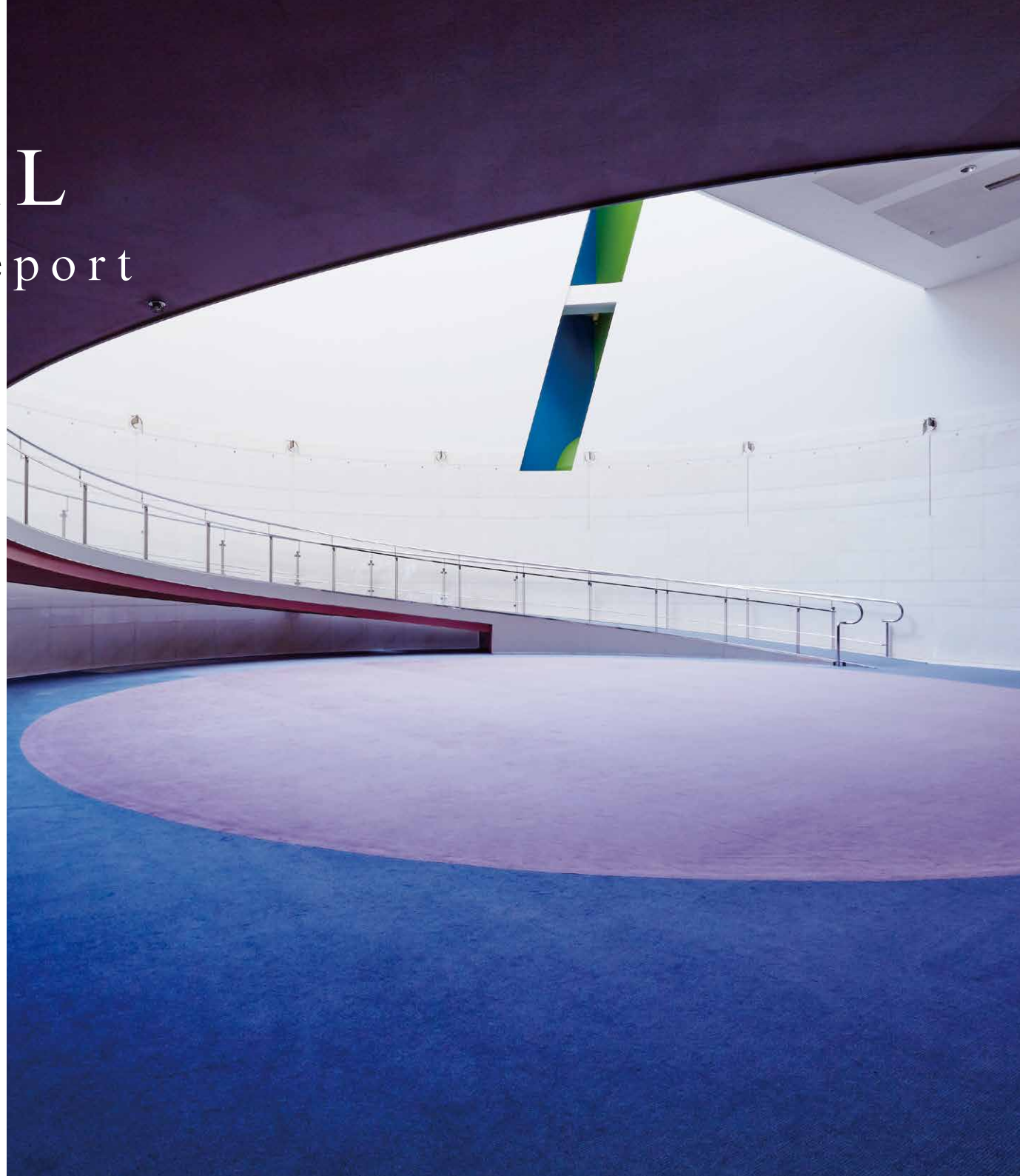
Music

Shop

Food & drink

Beauty

Produce



SPIRAL

Annual Report 2014

スパイラル活動報告2014

INDEX

展覧会 — Exhibition

- 2 ● SICF15 — 第15回 スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル —
- 4 ● luonto - kivikasa - polku - leija (自然・石の山・小道・風)
- 6 ● Park HOMES EXPO 2014 フューチャー縁日 — 祝福された偶然 —
- 8 ● スティーヴン・ムシン 「Now, If, What, Then 'Farming Tokyo — みんなとつくるまち」
- 10 ● 小林賢太郎がコントや演劇のためにつくった美術 展
- 12 ● ジ・アートフェア+プリュス — ウルトラ 2014
- 14 ● SICF15 グランプリアーティスト展 山本優美「うつしみ」
- 16 ● Boutique! — ファッションって何？ アートと考える、その姿。—

ダンス／パフォーミングアーツ — Dance / Performing Arts

- 18 ● Fabien Prioville Dance Company “time for us”
- 20 ● Dance New Air - ダンスの明日
- 22 ● スパイラル 聲明コンサートシリーズ vol.23 「千年の聲」
明恵上人作『四座講式』800年 紀 — 語りものの源流 —

レクチャー & ワークショップ — Lecture & Workshop

- 24 ● 美しい暮らしの学校 — 北欧と日本の生活デザイン —

音楽 — Music

- 26 ● 丈青《I See You While Playing The Piano》

販売 — Shop

- 28 ● Spiral Market Selection vol.300『Ring』
- 30 ● Spiral Market オリジナルブランド「+S」新商品

料飲 — Food & Drink

- 32 ● スパイラルカフェ プレミアムメニュー
- 33 ● Restaurant Bar CAY リニューアル

美容 — Beauty

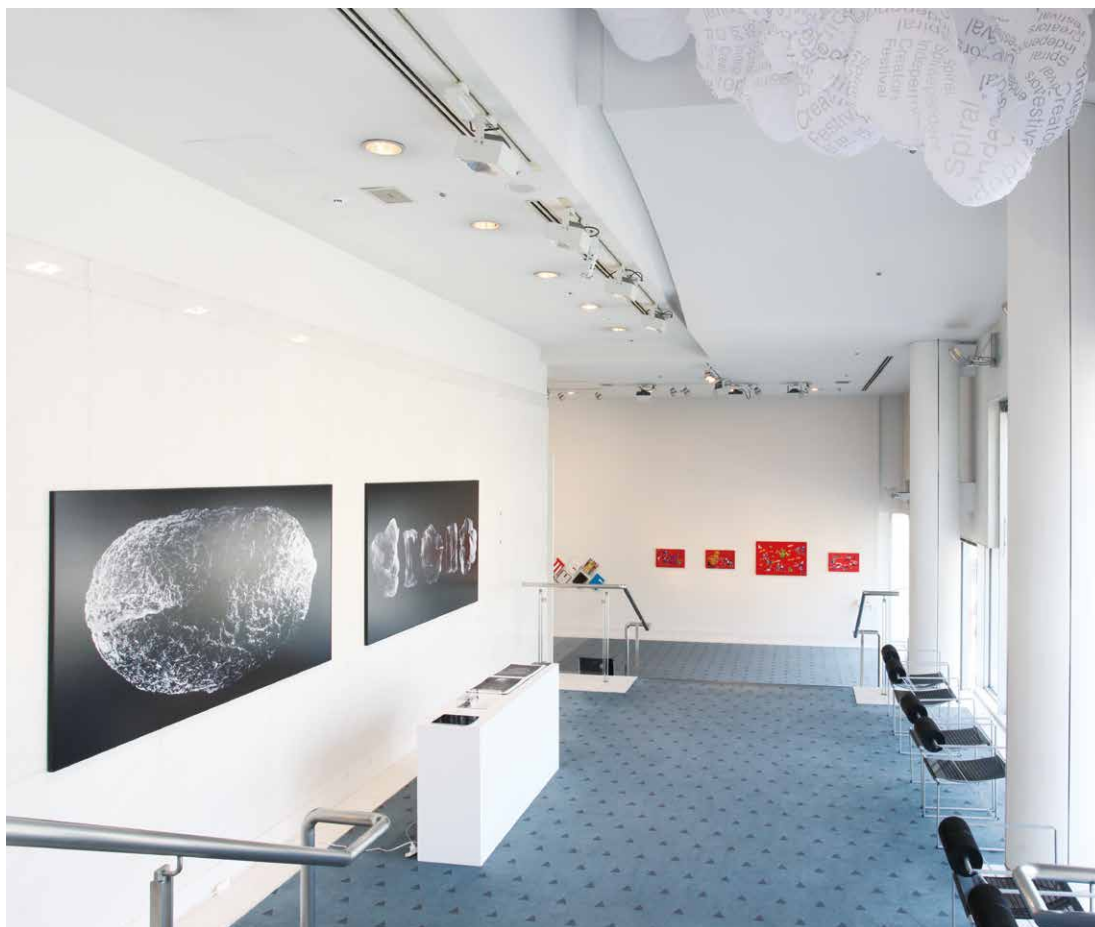
- 34 ● アモ園 ネイルサロン リニューアル
- 36 ● 「ブラネタリウムヨガ」ワークショップ

プロデュース — Produce

- 38 ● 道後オンセナート2014
- 40 ● 新豊洲エリア開発ブランディング
- 42 ● 象の鼻テラス — ポート・ジャーニー・プロジェクト、スマートイルミネーション横浜 他 —
- 44 ● 語り継ぐココロとコトバ 大古事記展 — 五感で味わう、愛と創造の物語 —
- 45 ● ピノキオプロジェクト



SICF15 —第15回 スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバルー



〈SICF15〉受賞者

グランプリ	山本優美
準グランプリ	松下裕子
準グランプリ	菅本智
浅井隆賞	長谷川依与
佐藤尊彦賞	橋本瞳
紫牟田伸子賞	酒井望
南條史生賞	木内祐子
スパイラル奨励賞	小笠原圭吾
オーディエンス賞	久野彩子

「SICF」(スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル)は、スパイラルが次代を担うクリエイターの発掘と支援を目的とした公募形式のアートフェスティバルです。

今年で15回目を迎えたSICFは2014年5月3～6日に開催。今回より展示壁面が白壁となり、より美しく作品を展示できる空間となりました。

参加クリエイター 100組の中から、焼き物を記憶メディアとして捉え、中古の衣服や日用品を精緻に手彫りし、身に付けていただろう人々の存在を記憶させるという作品『存在の感触』を出展した山本優美がグランプリを受賞しました。

SICF15: Spiral Independent Creators Festival 15

Spiral Independent Creators Festival (SICF) is an open call art festival intended as a platform for emerging artists and designers. The 2014 event was the 15th since it started and was held May 3rd-6th, 2014. In a change to previous years, the exhibition booth walls were white in order to display the work of the exhibitors better. From the 100 exhibitors, Masami Yamamoto was selected for the Grand Prize for her work interpreting ceramics as memory media, elaborately recreating old clothes and everyday items that capture the essence of the original owner.

Period 1: May 3rd - May 4th, 2014

Period 2: May 5th - May 6th, 2014

[Both two-day periods featured 50 exhibitors.]

Venue: Spiral Hall

開催概要

会期: A日程 2014年5月3日(土・祝日)～4日(日・祝日)

B日程 2014年5月5日(月・祝日)～6日(火・振替)

*両日程ともに50組2日間ずつ

会場: スパイラルホール

審査員(敬称略)

浅井隆(有限会社アップリンク社長/「webDICE」編集長)

佐藤尊彦(株式会社ビームス プレス)

紫牟田伸子(編集家/プロジェクトエディター)

南條史生(森美術館館長)

岡田勉(スパイラルチーフキュレーター)

主催: 株式会社ワコールアートセンター

協賛: 東京リスマチック株式会社

協力: CLIP、株式会社ステージフォー

企画制作: スパイラル

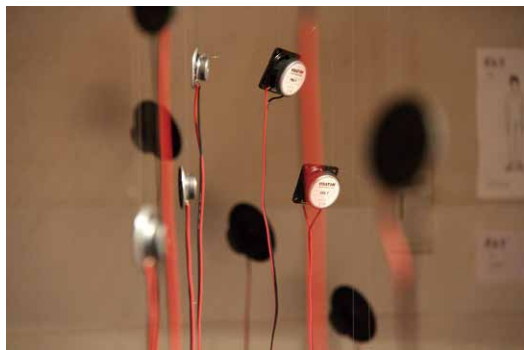
グラフィックデザイン: FORM::PROCESS

写真: 市川勝弘





luonto - kivikasa - polku - leija (自然 - 石の山 - 小道 - 凧)



フィンランドのAALTO大学芸術デザイン建築学部 大学院メディアラボ、ニュー・メディアMA専攻7名によるサウンド・インスタレーション展。

会場には、薪が燃える音、水や蒸気の音、大自然の中にあるサウナ小屋での神秘的で繊細な音など、フィンランドの自然と文化を様々な角度から表現した、サウンド・インスタレーション4作品が展示され、この国をかたちづくる伝統的な要素をうかびあがらせました。

アーティスト・作品

- Kirsi Ihalainen、Johanna Rotko
「luonto ルオント(自然)」
- Ari-Pekka Leinonen、Saku Kämäräinen
「kivi kasa キビカサ(石の山、サウナ石の積み上げ)」
- Jairo Acosta、Valtteri Wikström
「polku ポルク(小道)」
- Juan Duarte Regino
「leija レイヤ(凧)」

“luonto – kivikasa – polku – leija” (Nature – Stone Mountain – Path – Kite)

This sound installation featured the work of seven New Media MA students from the Media Lab at Finland's Aalto University School of Arts, Design and Architecture. From the sounds of the shimmering forest to firewood burning and water and steam, the venue at Spiral came alive with a mystical, intricate soundscape, almost as if it had been transformed into a sauna cabin deep in the mountains. The four sound installation works explored Finland's unique nature and culture from a range of perspectives, bringing to life the traditional elements that shape the country.

Period: May 1st – May 6th, 2014

Venue: Spiral Garden

開催概要

会期：2014年5月1日(木)～5月6日(火・祝)

主催：AALTO大学

ビジュアルデザイン：Kiia Beilinson(メディア学科グラフィックデザイン専攻)

スーパーバイザー：Shinji Kanki(客員講師、作曲家、サウンドアーティスト)

プロデューサー：Pipsa Asiala

会場協力：株式会社ワコールアートセンター

協力：フィンランドセンター



Park HOMES EXPO 2014 フューチャー縁日 — 祝福された偶然 —



「フューチャー緑日」は、12組のアーティストが描いた緑と緑をつなぐ空間。古くから親しまれてきた夏の風物詩を思い思いの視点で解釈した、未来の緑日です。

会場には新解釈の屋台やゲーム、そして多数の参加型アートワークが並びました。

夏休み期間中ということもあり、親子連れも含め、幅広い年齢の方が来場しました。

〈参加アーティスト・作品〉

- ・EAT & ART TARO : 「おごりカフェ @ スパイラルカフェ」
- ・CANTUS : 「静かなチンドン屋」
- ・oblaat : 「回覧板の詩、アクロスティック・ノート」
(イチハラヒロコ、覚和歌子、しらくまいく子、谷川俊太郎、野口あや子、文月悠光、松田朋春、三角みづ紀、みちる、村田峰紀、山田亮太)
- ・イチハラヒロコ : 「恋みくじ」
- ・KIKI : 「ネイチャーフィッシング」
- ・THEATRE PRODUCTS : 「Wordrobe」
- ・鈴木康広 : 「まばたきの葉」
- ・趙燁 : 「なりきり見世物小屋」
- ・トラフ建築設計事務所 + 面白法人カヤック : 「ツナガル屋台」
- ・山フーズ : 「ひも引きクッキー ~ごえん合わせ~」
- ・UTRECHT : 「おばけブック」
- ・Rocca SPIELE : 「Rocca Town」
- ・WOW : 「FACE TO FACE」

Park Homes Expo 2014: Future Ennichi – Celebrating Coincidence

“Future Ennichi” featured 12 artists and artist units. It was a modern summer-themed reinterpretation of the traditional Japanese ennichi feast day. The venue came alive with new types of summer festival stalls, games, and interactive artworks. As it was held during the summer school break, among the visitors there were many families and a wide range of generations.

Period: August 6th – August 10th, 2014

Venue: Spiral Garden

開催概要

会期：2014年8月6日(水)～8月10日(日)

会場：スパイラルガーデン

主催：三井不動産レジデンシャル株式会社

企画制作：スパイラル

会場構成：小林恭+マナ(設計事務所イマ)

グラフィックデザイン：WALTZ.

写真：池田美都





スティーヴン・ムシン展 「Now, If, What, Then ‘Farming Tokyo — みんなとつくるまち’」



アーティストと一緒に考える、未来の東京。

持続可能な未来へ向けて、自身の壮大な想像力とリサーチから得た実データを基にユニークなシステムを提案し、難しく捉えがちな環境問題を皆で考えるきっかけを創出するアーティスト、スティーヴン・ムシンの日本初個展。

彼が想像する未来のまちは、牛が自ら出すメタンガスを動力とする気球で飼育されていたり、恐竜のような巨大なコンポストマシンが歩いていたりと、奇抜で大げさなアイデアにも聞こえますが、彼の作品の特徴は、理論上実現が可能な範囲で構想されている所にあります。

本展では、東京の食文化や生活スタイルなど地域に根付いた知見を取り入れるため、東京農業大学の学生とのワークショップを繰り返し行ない制作した多数のドローイング作品展示の他、来場者が創り手となって会場に設置された壁面に未来の東京を創りあげるワークショップも開催し、参加者の想像が詰まったインスタレーションが完成しました。

Stephen Mushin "Now, if, what, then – Farming Tokyo"

This was the first solo show in Japan for Stephen Mushin, the Australian artist who creates ecologically minded work about sustainability and futuristic visions for society. He envisioned a future scenario where cows are farmed on flying "cowships" driven by the animals' own methane gas and where dinosaur-like giant robotic composters walk the Earth. While his ideas are fantastic, they are nonetheless based on what is theoretically possible.

The exhibition also included a drawing workshop with Tokyo University of Agriculture, as well as a workshop for visitors young and old to contribute their own ideas to the installation.

Period: August 18th – August 31st, 2014

Venue: Spiral Garden

開催概要

会期：2014年8月18日(月)～8月31日(日)

会場：スパイラルガーデン

主催：株式会社ワコールアートセンター

企画制作：スパイラル

企画協力：Kathryn Hunyor (Art Waku Waku)

特別協力：オーストラリア大使館

東京農業大学農学部農東京農業大学農学部農学科 作物生産分野作物学研究室

平野ゼミ/植物保護分野昆虫学研究室長島ゼミ、グラフィック株式会社

テクニカルディレクション：山元史朗

グラフィックデザイン：石神正人 (DAY)

写真：寺島由里佳



小林賢太郎がコントや演劇のために作った美術 展



劇作家・パフォーミングアーティストの活動を精力的に行ない、またコントグループ「ラーメンズ」としての活動でも知られる小林賢太郎の展覧会を開催しました。

彼が創り出す「舞台」は、機智に富み巧妙に紡がれた言葉と動き、そしてミニマルなつくりの舞台上を緻密な仕掛けによって最大限に演出する舞台美術で観客を魅了します。彼はこれまで舞台や映像作品のために、何枚もの絵を描き、いくつかのセットをデザインし、たくさんの小道具を自らの手で製作してきました。

本展では、今まで舞台上や画面上でしか見ることはできなかった、小林賢太郎のステージを構成する作品の数々を展示したほか、本人がデザインし、実際に使用された舞台衣装などを展示する「楽屋」が出現しました。

Kentaro Kobayashi Stage Design Exhibition

Kentaro Kobayashi is an acclaimed playwright, performer, and member of the comedy duo Rahmens. This exhibition showcased the stage design for his theater and comedy, including meticulously created sets and stage trickery. Kobayashi designs these himself, as well as making many of the props that appear in his work.

The event gave fans a unique window into the making-of process behind Kobayashi's performances, usually only seen in a finished form on a stage or screen, as well as his personal dressing room designed by Kobayashi with exhibits of his costumes.

Period: September 19th – October 5th, 2014

Venue: Spiral Garden



開催概要

日時：2014年9月19日(金)～10月5日(日)

会場：スパイラルガーデン

主催：株式会社トゥインクル・コーポレーション

企画協力：スパイラル

会場協力：株式会社ワコールアートセンター





ジ・アートフェア + プリュス — ウルトラ 2014



スパイラルでは、秋の恒例イベントとして定着している、アートフェア「THE ART FAIR + PLUS — ULTRA 2014」を10月25日～11月3日の期間開催しました。

本イベントは、現代美術に限らず、ジャンルの垣根を超えて日本発の優れたアートを幅広く提供することを目指す「+プラス」と、40歳以下の若手ディレクター個人を出展単位とする「ウルトラ」の2つの部門をもった、統合型のアートフェアです。昨年は後期日程で展開していた「+プラス」を前後期で開催、合計52のディレクターとギャラリーの出展により一層見応えのあるフェアとなりました。

The Art Fair + Plus - Ultra 2014

This comprehensive event is part of Spiral's annual autumn line-up, with the 2014 fair held in two parts over October 25th to November 3rd. It features two sections: "+Plus," with selected work by artists from Japanese galleries across all media, and "Ultra," with booth exhibits by gallery directors aged 40 or younger. The impressive 2014 fair changed the format so that the two categories were included in both periods of the fair, with a total of 40 directors and 12 galleries participating.

Period 1: October 25th - October 28th, 2014

Period 2: October 31st - November 3rd, 2014

Venue: Spiral Garden

開催概要

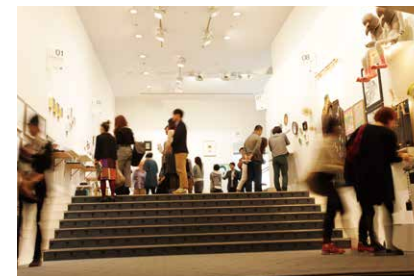
会期：1st Term：2014年10月25日(土)～28日(火)

2nd Term：2014年10月31日(金)～11月3日(月・祝)

会場：スパイラルガーデン

主催・企画制作：システム：ウルトラ(株式会社ワコールアートセンター/
株式会社レントゲンヴェルケ)

写真：市川勝弘





SICF15 グランプリアーティスト展
山本 優美「うつしみ」
2014.10.25 - 10.27

SICF15 Grand Prix Artist Exhibition
Masami YAMAMOTO 「UTSUSHIMI」
2014.10.25 - 10.27

SICF15 グランプリアーティスト展 山本優美「うつしみ」



5月に開催した「SICF15」(第15回スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル)に於いてグランプリを受賞した山本優美(やまもとまさみ)による個展「うつしみ」をショウケースで開催しました。

何の変哲もない日用品をモチーフとし、粘土を本物と見紛う程に精巧に手作業で象り、硬く焼き上げた作品の数々。

山本優美は、焼く事により形を留める陶器を「記憶のメディア」として捉え、かつてそれを身につけていた人々の姿を浮かび上がらせます。

今回の個展では初めて、作家本人と深く関わりを持つ自身の祖母の持ち物をモチーフとし、祖母のライフストーリーを重ね合わせ、時間と想いを丁寧に彫り込んだ新作を展示しました。

展覧会タイトル「うつしみ」は、“この世に生きている身(現身(うつしみ))”を意味し、現代に生きる人の痕跡を「記憶のメディア」で浮き彫りにすると共に「映し」、「移し」、「写し」といった同音の語から制作の裏側にある意図を彷彿とさせます。

SICF15 Grand Prix-Winner Exhibition: Masami Yamamoto “Utsushimi”

This solo exhibition at the ground floor Showcase space featured the work of Masami Yamamoto, winner of the Grand Prix at the SICF15 in May. Yamamoto's ceramic artworks are remarkably realistic recreations of everyday objects and clothes, intricately made by hand in clay. The artist interprets ceramic as a medium for memories. By remaking items in perfect clay forms, the artworks can express the original owner.

The Spiral exhibition was the artist's first solo show and included new work meticulously crafted to reflect the life of Yamamoto's own grandmother through clay representations of her possessions. The exhibition title is a play on the Japanese word for “incarnation,” referring to how the artworks serve as memory media for expressing traces of modern human life.

Period: October 25th – October 27th, 2014

Venue: Showcase

開催概要

会期：2014年10月25日(土)～10月27日(月)

会場：ショウケース

主催：株式会社ワコールアートセンター

企画制作：スパイラル

写真：市川勝弘





Boutique! —ファッションって何？アートと考える、その姿。—



「もし、急に避難することになったら、何を着ていきますか？」
「今、あなたが着ている服をつくるのに、どれだけの材料が必要だと思いますか？」

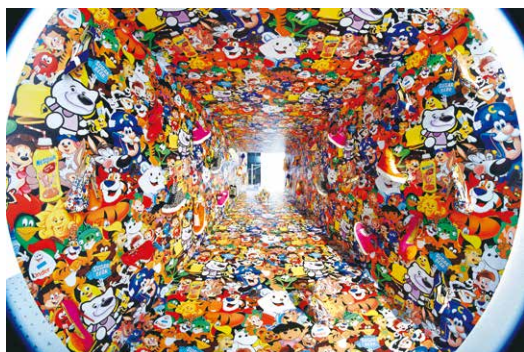
「その服の価格は、価値に見合っていますか？」

そんな質問を投げかけられたら、あなたはなんと答えますか？

自己表現の手段として、そして日用品として身近な存在であるファッションを切り口に、アーティストとファッションデザイナーとがペアを組んでアートワークを制作。フィンランドと日本のクリエイターが参加し、ファッションを普段と異なる視点から捉え直す展覧会を実施しました。

グラフィックデザインはKIGIが担当し、エントランスのクリスマスツリーやポップアップストアなどもディレクション。

冬のスパイラルを楽しく彩りました。



“Boutique! Thinking about fashion, through art” Exhibition

What would you wear if you had to evacuate? What materials were necessary to make the clothes you are wearing now? Does the cost of clothes correspond to its true value?

These were the questions posed to visitors by this exhibition, which dealt with fashion as both an everyday object and a means of self-expression. Pairing artists with fashion designers from Japan and Finland, the event featured a series of vibrant artworks offering new interpretations on fashion. The emerging talents from the two countries explored themes of the duality of cost and value, production and waste, and function and decoration, as well as the criteria of beauty, employing a range of media, including video, sculpture, painting, and installation. The exhibition's graphic design was handled by KIGI, who also produced the special interior design and Christmas tree decorations for the Spiral entranceway during the show.

Period: December 17th – December 29th, 2014

Venue: Spiral Garden



〈出展作家〉

・フィンランド

Tero Puhja & Teemu Muurimäki
Salla Salin & Timo Rissanen
Heidi Lunabba & Nutty Tarts
Katja Tukiainen & Samu-Jussi Koski
Minna Parikka & Jani Leinonen
Paola Shuhonen & Mikko Ijäs

・日本

松井えり菜 & 舘鼻則孝
matohu & ナガオカケンメイ

開催概要

会期：2014年12月17日(水)～29日(月)

会場：スパイラルガーデン

主催：株式会社ワコールアートセンター

企画制作：スパイラル

企画協力：Annamari Vänskä

特別協力：フィンランドセンター

協力：Amos Anderson Art Museum

後援：フィンランド大使館

グラフィックデザイン：KIGI

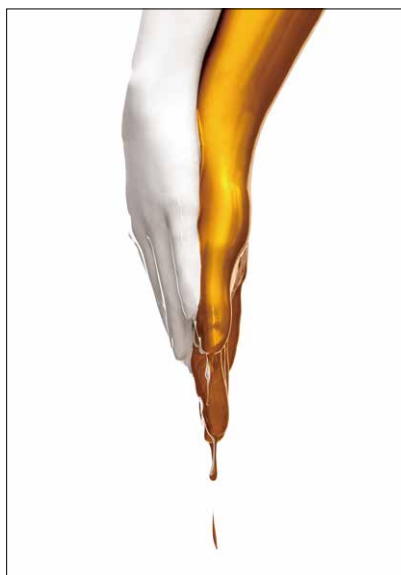
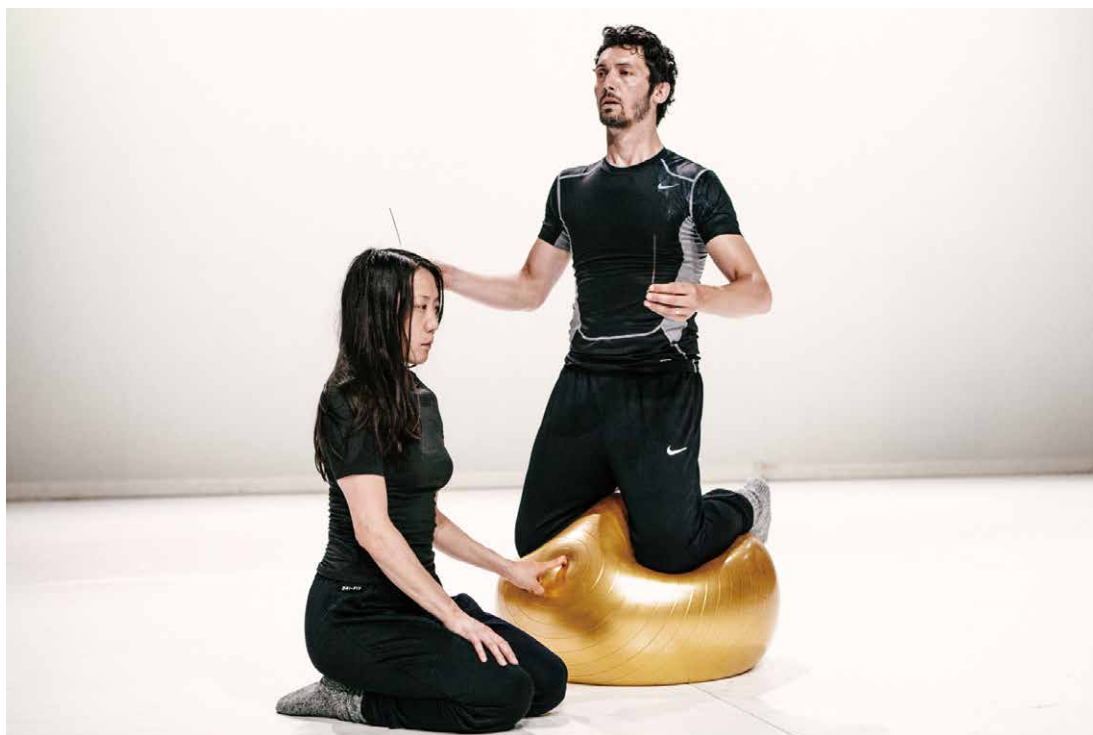
会場構成：武松幸治+E.P.A

写真：三嶋義秀





Fabien Prioville Dance Company “time for us”



ピナ・バウシュのヴッパタール舞踊団での活動で知られるファビアン・プリオヴィルと瀬山亜津咲の初めてのデュオ作品をスパイラルホールにて開催しました。

出会いの瞬間の重要性

コミュニティの中での居場所の模索

ステージ上でのダンサーの関係

出会ったその時、欲求や欲望はどこから湧いてきて、そして何が2人を結びつけるのか。

「time for us」は“intimacy(密接感)”をテーマに、互いへの欲望を追及する作品であり、さらに、ダンサーとしての自身を振り返る、バイオグラフィーのレプリカです。

各々のアーティストとしての歴史を紐解きながら、全て包み隠さず、互いへの欲望を表現した公演となりました。

Fabien Prioville Dance Company “time for us”

This was the first duo between Floran Prioville and Japanese dancer Azusa Seyama, who have both worked with Pina Bausch's Tanztheater Wuppertal. Performed at Spiral Hall, the dance explored the importance of the moment of encounter, the search for your place in a community, and the relationship between dancers on a stage. In the instant of an encounter between two people, what is created out of their burning desires and hopes?

“time for us” was themed around intimacy, attempting to get close to each other's desires. The dance piece also served as a biography looking back on the dancers' own lives. As they wove their own personal histories, they gave raw expression to their mutual desires.

Period: July 24th – July 27th, 2014

Venue: Spiral Hall

開催概要

開催日：2014年7月24日(木)～27日(日)

会場：スパイラルホール

主催：スパイラル／株式会社ワコールアートセンター、
ファビアン・プリオヴィル・ダンス・カンパニー

協力：東京ドイツ文化センター

写真：Mischa Lorenz



© 塚田洋一

Dance New Air - ダンスの明日



© 松本和幸



©MILLA



©MILLA



© 塚田洋一

〈主な参加アーティスト〉

小野寺修二、伊藤郁女、エスター・バルフェ&チョン・ヨンドゥ&北村成美、大植真太郎&森山未来&平原慎太郎、山下残、ナセラ・ベラザ、北村明子&ユディ・アフマッド・ダジュディン、フランソワ・シェニョー&セシリア・ベンゴレア 他

東京・青山を舞台に2002年から開催してきた「ダンストリエンナーレトーキョー」を引き継ぎ、誕生したダンス・フェスティバル「Dance New Air —ダンスの明日」。

第1回目の「Dance New Air」では、協働クリエイションに焦点をあて、国境や言語の境界を越え、自らの存在を懸けて新たな地平を切り拓こうとするアーティスト達が、世界各地の異なる環境で多様な現実と向き合いながら、それぞれが対話を重ね、創造性を抛り所として生み出した作品を紹介しました。

24日間に及ぶ開催期間中、国内外の実力あるアーティストによる注目の8作品をスパイラルホール、青山円形劇場で上演した他、近隣の施設にてワークショップ、アーティスト・イン・レジデンスやワーク・イン・プログレスなど、ダンスに関する多彩なプログラムが開催されました。

Dance New Air

Dance Triennale Tokyo, which had been held in Aoyama since 2002, was reborn as Dance New Air in 2014.

The first festival focused on partnerships and collaborative creation in order to transcend boundaries of nationality and language. Artists from all over the world engaged in dialogue to present work as examples of creativity appropriate to the diversity of our lives today. The 24-day festival featured a program of eight works staged at a range of venues around Aoyama, as well as workshops, artist residencies, work-in-progress presentations, and more.

Period: September 12th – October 5th, 2014 (24 days)

Venues: Spiral Hall, Aoyama Round Theatre, Theatre Image Forum, National Children's Castle, Aoyama Book Center, and more

開催概要

期間：2014年9月12日(金)～10月5日(日)

会場：スパイラルホール、青山円形劇場、シアター・イメージフォーラム、こどもの城、青山ブックセンター本店 他

主催：公益財団法人児童育成協会(こどもの城 青山劇場・青山円形劇場)、スパイラル/株式会社ワコールアートセンター、Dance New Air 実行委員会

助成：平成26年度文化庁国際芸術交流支援事業、アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)、アンスティチュ・フランス パリ本部

www.dancenewair.tokyo



スパイラル 聲明コンサートシリーズ vol.23 「千年の聲」

明恵上人作『四座講式』800年紀 ― 語りものの源流 ―



1215年(建保3)2月15日、明恵上人は梶尾高山寺の涅槃会に際し『四座講式』を撰述し、演唱されました。

『四座講式』は、日本で作られた叙事的な日本語の声明として、浄瑠璃や平曲など語りものも源流と云われ、2015年は800年紀にあたります。

『夢幻記』でも有名な明恵上人。

幼少の頃から釈尊を慕い、インドへの渡航を2度にわたって企てながらもその夢はついで叶えられませんでした。

その釈尊に対する恋慕渴仰の思いが 聴聞の人々の胸を打ち、各地の涅槃会で用いられ、講式中の講式として普及し、今日に唱え継がれています。

“Voices of a Thousand Years”: 800 Years Since “Shiza Koshiki” Spiral Shomyo Concert Series #23

2015 marks 800 years since the Buddhist monk Myoe created the shomyo ritual chant “Shiza Koshiki.” As a uniquely Japanese lyrical form of chant, “Shiza Koshiki” is said to be the source of later Joruri and Heikyoku narrative music storytelling. Myoe first performed the chant on February 15th, 1215, at Kozanji temple.

The holy man, who is also famous for writing “Mugen-ki,” twice unsuccessfully attempted to travel to India. This performance of the four parts of the ritual chant was held over two days around Parinirvana (Nirvana day), bringing the eight-century-old work powerfully home for contemporary audiences.

Period: February 14th – February 15th, 2015
Venue: Spiral Hall



- 涅槃講式
沙羅双樹の下で入滅した釈尊の最後の様子を伝えます。
- 羅漢講式
釈尊から仏法を護持することを託された16人の仏弟子たちの物語です。
- 遺跡講式
菩薩樹など釈尊ゆかりの遺跡を尋ねた人々の物語です。
- 舍利講式
仏法を伝えるために遺された釈尊の遺骨(仏舍利)の功德を物語ります。

開催概要

開催日：2015年2月14日(土)「涅槃講式」「羅漢講式」「遺跡講式」
2月15日(日)「舍利講式」

会場：スパイラルホール

出演：声明の会・千年の聲

聲明指導：孤嶋由昌、新井弘順

構成・演出：田村博巳

宣伝美術：井原靖章

制作：スパイラル、NPO法人魁文舎、声明の会・千年の聲

助成：芸術文化振興基金

主催：声明の会・千年の聲、株式会社ワコールアートセンター

写真：bozzo



美しい暮らしの学校 ―北欧と日本の生活デザイン―



2012年からはじまった、私たちの暮らしを支える「日用品」に焦点を当て、その背景とストーリーから「美しい暮らし」を考える学校プログラムの第二弾。

北欧デザインと日本のインテリアに造詣の深い武蔵野美術大学名誉教授・島崎信氏を本学学長に迎え、2014年度は全6回講座で北欧や日本のものづくりの歴史から【今日のくらしのデザインに必要なこと】をひも解きました。

また、毎回の講義終了後に、「アフタースクール」と称した少人数ゼミを開催。デザインや北欧、日本の文化について思いを持ちながらも交流するきっかけがない方、島崎氏から個別にアドバイスを受けた方が参加し、有意義な会となりました。



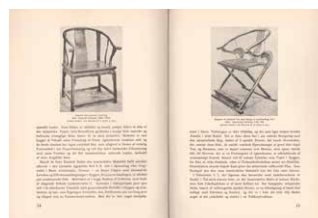
Utsukushii Kurashino Gakkou: Lifestyle Design in Scandinavia and Japan

This is the second program in an educational series started in 2012 that focuses on everyday items and how they can make lifestyle design more attractive. The program comprised six lectures by Makoto Shimazaki, an honorary lecturer at Musashino Art University and expert in both Scandinavian design and Japanese interior design. Shimazaki's lectures examined the design elements necessary to our lives today from the twin contexts of Japanese and Scandinavian monozukuri.

Each lecture was followed by small-scale seminars, where participants were able to exchange opinions and ask for advice on design, Scandinavia, and Japanese culture.

Lecture Schedule: November 27th, 2014; December 11th, 2014;
January 15th, 2015; February 12th, 2015;
March 19th, 2015; April 16th, 2015

Venue: Spiral 9F



〈講義スケジュール〉

第1回 学ぶ・読む「北欧デザインを学ぶ」開催日：2014年11月27日（木）

- ・フィン・ユール邸にみる学び方
- ・記録しないものは記憶に残らない 他

第2回 住む「心地よい暮らし」開催日：2014年12月11日（木）

- ・住まいは生活の拠点
- ・北欧の住宅建築に与えた日本の住宅の影響
- ・ポール・ヘニングセンの照明器具 他

第3回 食べる「北欧の器と日本民藝」開催日：2015年1月15日（木）

- ・文化としての食事、五感で味わう食事
- ・G・ボウルソンの『美しい日用品を』
- ・北欧デザインと日本の工芸・民芸との交流 他

第4回 旅する「私の旅のしかた」開催日：2015年2月12日（木）

- ・目的を持った初めての旅
- ・車で旅で知るヨーロッパの素顔
- ・『一脚の椅子 その背景』取材の旅 他

第5回 座る「世界の椅子のはなし」開催日：2015年3月19日（木）

- ・オーレ・ヴァンシアの教え『伝承と創造』
- ・良い椅子 8つの要件（島崎信＋織田憲嗣）
- ・日本の近代椅子デザイナー 8人の仕事 他

第6回 買う「形あるものには心がある」開催日：2015年4月16日（木）

- ・形あるものには魂がある
- ・ものを直して使う文化
- ・北欧と日本の優れたものの共通点などを予定

開催概要

会場：スパイラル9F

主催：株式会社ワコールアートセンター

監修：島崎信

企画制作：スパイラル

企画協力：NPO法人東京・生活デザインミュージアム

協力：株式会社ワコール

協賛：カール・ハンセン＆サン ジャパン株式会社

デンリッシュインテリア株式会社

フリッツ・ハンセン ストア 株式会社 KEIZO

フレデリシア社

ルイスボールドセン ジャパン株式会社

（五十音順）



丈青 《I See You While Playing The Piano》



丈青《I See You While Playing The Piano》

品番：XQAW-1107

発売日：2014年10月8日

価格：¥2,870+ 税

形態：CD

レーベル：SPIRAL RECORDS

SOIL&“PIMP”SESSIONS, J.A.Mのメンバーとして世界的な活動を展開、José James、日野皓正、菊地成孔などのトップアーティストから賞賛される丈青の初のソロピアノ・アルバムをリリースしました。

コンサートグランドの名品「FAZIOLI F278」をホールで演奏、世界に先駆けDSD 11.2MHz / 1bitでマルチ・レコーディングをした本作は、スタンダード、バラード、オリジナル、完全即興に至る多彩なレパートリーから、清新でゆたかなイメージと、ジャズのあらたな相貌を浮かびあがらせます。

2015年2月7日にはスパイラルホールにて、リリースコンサート with J.A.M & 沖仁を開催。

1部は丈青のアルバムからのレパートリーを中心としたソロピアノを。レコーディングに実際に使用されたFAZIOLIを運び入れ、アルバムに収められた響きやその量感、余韻を再現。

2部では丈青をリーダーとするSOIL&“PIMP”SESSIONSから派生したピアノ・トリオJ.A.M、そしてスペシャルゲストとして日本が世界に誇るフラメンコ・ギタリスト、沖仁をゲストに迎え、鮮烈なインプロビゼーションと色彩豊かなサウンドによるパッションあふれる演奏で展開しました。

Josei “I See You While Playing the Piano”

This album was the first solo piano release by Josei, the musician acclaimed worldwide for his work with the likes of José James, Terumasa Hino, and Naruyoshi Kikuchi, and as a member of Soil & “Pimp” Sessions and J.A.M. This album was recorded on 1-bit DSD 11.2MHz on a Fazioli F278 piano. This concert featured Josei flex his talents to the max on the same Fazioli as used for the recording, showing off his repertoire of improv, original pieces, and jazz standards. The first half of the concert included selections from his new album, while the second half saw Josei joined by special guests flamenco guitarist Jin Oki and fellow J.A.M. members for a vibrant improv session.

Period: February 7th, 2015

Venue: Spiral Hall

開催概要

開催日：2015年2月7日(土)

会場：スパイラルホール

出演：丈青、J.A.M (piano trio from SOIL&“PIMP”SESSIONS)

Special Guest：沖仁

主催：株式会社ワコールアートセンター

企画制作：スパイラル

協力：ALT.NEU.Artistservice



Spiral Market Selection vol.300 『Ring』



「エターナルデザイン」をコンセプトに、生活雑貨を通して新しい暮らしの提案を行うスパイラルマーケットが主催する企画展、〈spiral market selection (スパイラルマーケットセレクション)〉の300回を記念した展覧会を開催しました。

spiral market selectionは生活に携わる分野のものづくりをしている作家・クリエイターの作品を、日々の生活を提案するライフスタイルショップでご紹介することで、作品をもっと身近に毎日の生活に取り入れていただきたい、というスタッフの想いから1995年にスタートしました。

スタートから約20年の時を経て迎えた、記念すべき300回目は「Ring」をテーマに、同展に縁のある作家と、彼らの紹介による新たな作家の合計51名の作品を2会期にわたりご紹介しました。

ひとつひとつに、作り手の技術と想いが込められた作品のある暮らしは、日常のなにげない行為さえも豊かで喜びに満ちた瞬間であることに気づかせてくれます。

「作品のある豊かな暮らし」を観て・触れて・使って体験できる展覧会となりました。

Spiral Market Selection Vol.300 “Ring”

This exhibition celebrated the 300th edition of the Spiral Market Selection event, organized by Spiral Market, a store that presents lifestyle crafts for design-minded consumers. 20 years have passed since the event started in 1995 as a platform for new forms of living through the work of designers and artists. For this anniversary 300th edition, the exhibits were themed around rings and comprised a total of 51 artists, including new participants, spread out over two periods. The event was an opportunity for visitors to see, touch and experience rich lifestyles created by handmade designs.

Period 1: September 19th – October 2nd, 2014

Period 2: October 3rd – October 16th, 2014

Venue: Spiral Market

開催概要

期間：1st Term：9月19日(金)～10月2日(木)

2nd Term：10月3日(金)～16日(木)

会場：スパイラルマーケット

主催：株式会社ワコールアートセンター

企画制作：スパイラルマーケット



Spiral Market オリジナルブランド「+S(プラスエス)」新商品



スパイラルマーケットが、ひとつひとつ想いを込めて送り出す、オリジナルプロダクト「+S（プラスエス）」では、作家とのコラボレーションアイテムも製作しています。

2014年9月19日より開催した、スパイラルマーケットの企画展〈spiral market selection vol.300『Ring』〉を記念して、同展に縁のあるテキスタイル作家5組（イイダ傘店、kata kata、JUBILEE、点と線模様製作所、トモタケ）とコラボレーションしたもので、企画展開催にあわせてスパイラルエントランスで展開する「POP UP SHOP」にて先行販売しました。

New releases from Spiral Market original brand +S

+S is the original line of products developed by Spiral Market, produced in partnership with individual artists and designers. These items were created to correspond with the Spiral Market Selection Vol.300 "Ring" event from September 19th, working with five textile artists and design groups connected to the Spiral Market Selection exhibition series to showcase and sell their work in a special pop-up shop on the ground floor of Spiral.





スパイラルカフェでは、通常のメニューに加え、オーダーを頂いてから一杯ずつ丁寧にお作りするプレミアムドリンクメニューを2014年春よりご提供しています。

グアテマラとブラジルの農園で育った、異なる二種類の豆をブレンドし、深い味わいと心地良い余韻が長く続く、スパイラルブレンドコーヒー。熟練のティーブレンダーが新鮮な素材を厳選し丁寧に作りあげたオリジナルブレンドティーなど、珠玉の一杯がお楽しみいただけます。

プレミアムアイ스티ー ¥980 (税込)

スパイラルブレンド コーヒー ¥980 (税込)

営業時間：11:00 ~ 23:00

年中無休 (イベント時除く)

Spiral Cafe: Premium Menu

Spring 2014 saw the introduction of a new premium drink menu at the Spiral Cafe. Spiral's new original coffee blend is a rich roast of two types of coffee bean from Guatemala and Brazil. The other item on the premium menu is an original tea, made with carefully chosen fresh ingredients by experienced tea blenders.

Spiral Blend Coffee: ¥980 (inc. tax)

Premium Ice Tea: ¥980 (inc. tax)

Opening Hours: 11:00 - 23:00

Open every day of the day (except during certain events)



スパイラルカフェ プレミアムメニュー



2014年4月よりスパイラルB1FのCAYがリニューアル。

アメリカ、ヨーロッパを中心とした、新鮮な素材を生かした多国籍料理、各種アルコールメニューと、幅広いジャンルの音楽を発信する本格的ライブステージとの競演をお楽しみいただける空間となりました。

ロティサリーマシんでこんがり焼きあげたり、香ばしく燻したお肉料理や、ボリュームたっぷりのサラダ、パエリア、小皿料理など盛り沢山のメニューと、世界中の美味しいワインを提供しています。

6月からはランチのサービスも開始。ボリュームたっぷりのランチメニューが好評を得ています。

営業時間：11:30～25:00

年中無休（イベント時除く）

Restaurant Bar CAY Renewal Opening

Spiral's basement floor restaurant CAY reopened after renovations in April 2014. The restaurant bar has a vibrantly international menu, offering a wide range of cosmopolitan dishes from America and Europe. The stylish space also features a live music stage, supplying guests with entertainment while they dine and drink.

Opening Hours: 11:30 - 25:00

Open every day of the day (except during certain events)



Restaurant Bar CAY リニューアル



アモ園 ネイルサロン、ウェブサイト リニューアル



「アモ園 ネイルサロン」は、1985年のオープン以来、日本のネイルサロンの先駆けとして、心とからだの健康から女性本来の美しさを追求し、きめ細やかなケアとメニューで、トータルに女性の美を演出しています。

2014年8月には、より一層ゆったりとした時間を過ごしていただけるよう店舗をリニューアル、また、ウェブサイトも9月1日より全面リニューアルし、アモ園・ネイラ各店舗の詳細や、キャンペーン情報、季節に合わせたネイルデザインのご提案をしています。

アモ園 ウェブサイト：amoem.jp

公式 Facebook：facebook.com/amoem.naila

amoem naila Nail Salon & Website Re-launch

amoem naila has been a pioneer of nail beauty ever since it opened in 1985. In August 2014, it renovated its main Tokyo salon to enhance the relaxing experience it offers women. In September, amoem nail also re-launched its brand website, including seasonal and campaign information, plus details of the chain's nail salons.

Website: amoem.jp

Facebook: facebook.com/amoem.naila



写真：加藤純平



「プラネタリウムヨガ」ワークショップ



スパイラル6Fのアップフォーヨガは、スパにいるようなリラックス感を得られるヨガスタジオです。少人数制で質の高いインストラクターによるきめ細やかなレッスンと、音楽や香り、光にまでこだわった空間が好評を得ています。

ギネスにも認定されたプラネタリウムの開発者、大平貴之の手がけるMEGASTAR-Jr.を使用したプラネタリウムヨガを開催しました。

スタジオいっぱいに広がる星空に包まれながら、壮大な宇宙と自然を五感で感じるワークショップとなりました。

Planetarium Yoga Workshop

Up for Yoga is a yoga studio on the sixth floor of Spiral that offers the facility's typical lifestyle approach to yoga and wellness. The popular studio runs yoga for small groups in a unique harmony of music, aroma and light. This workshop featured a planetarium designed by the renowned Takayuki Ohira, who was responsible for the Guinness World Record-certified Megastar. Participants enjoyed yoga while surrounded by the stars of the universe for truly epic sensory experience.

Period: December 20th – December 23rd, 2014

Venue: Up for Yoga (Spiral 6F)

開催概要

期間：2014年12月20日(土)～23日(火・祝)

会場：UP FOR YOGA (スパイラル6F)

主催：UP FOR YOGA

企画制作：有限会社 大平技研、スパイラル/株式会社ワコールアートセンター



1

© KYOTA TAKAHASHI / Dōgo Onsenart 2014 Photo : Murakami Mito

道後オンセナート2014 -DŌGO ONSENART 2014-



© LIVE BONE Dōgo Onsenart version, Kodue Hibino & Kaiji Moriyama & Kohske Kawase / Dōgo Onsenart 2014



© NOBUYOSHI ARAKI / Dōgo Onsenart 2014 & HOTEL HORIZONTAL, All Rights Reserved



© FUJIWO ISHIMOTO / Dōgo Onsenart 2014 & HOTEL HORIZONTAL, All Rights Reserved

- ① 本館ライトアップ 大遷層のお色直し
高橋匡太
"Dōgo Onsen Honkan 120th Anniversary Illumination Project"
by Kyota Takahashi
- ③ 楽園
荒木経惟 × ホテル古湧園
PARADISE
by Nobuyoshi Araki × Hotel Kowakuen

- ② アートパレード「LIVE BONE 道後オンセナート 2014バージョン」
森山開次、ひびのこづえ、川瀬浩介
Art Parade "LIVE BONE Dōgo Onsenart 2014Version"
by Kaiji Moriyama, Kodue Hibino, Kohske Kawase
- ④ Suuri Taiga / 大草原
石本藤雄 × 茶玻璃
Suuri Taiga
by Fujiwo Ishimoto × Hotel Chaharu

道後温泉本館改築120周年を記念し、愛媛県松山市の温泉街、道後を舞台に開催されたアートフェスティバル「道後オンセナート(DŌGO ONSENART)2014」の総合プロデュースをスパイラルが行いました。

アーティストたちが道後温泉の街を舞台に、多彩な作品を展開する「オンセナートコレクション」、道後地区のホテルが参加する、宿泊可能なアート作品「ホテルホリゾンタル」、常設型の作品と並行して、ツアープログラムや市、まちの人々が共通に着用するオリジナルユニフォームなど、様々な形態の地域参加プログラムによって一体的にフェスティバルを盛り上げました。

一部プログラムはフェスティバル開催終了後も継続することが決定しています。

Dōgo Onsenart 2014

Spiral produced Dōgo Onsenart 2014 for Matsuyama City, Ehime Prefecture, to mark 120 years since the construction of the Dōgo Onsen Honkan in the famous hot spring resort. Artists brought their work to the heart of Japanese onsen culture, creating specially decorated hotel rooms as well as outdoor site-specific artworks for visitors to experience at night. There were also many projects for locals to get involved, including an original uniform for people in the area to wear, helping to foster a vibrant festive atmosphere. Some parts of the program continued after the festival period was over.

Period: December 24th, 2013 – December 31st, 2014 (including preview period)

開催概要

名称: 道後オンセナート 2014 (DŌGO ONSENART 2014)

テーマ: 最古にして、最先端。温泉アートエンタテインメント。

会場: 道後温泉およびその周辺エリア

期間: プレオープン 2013年12月24日

グランドオープン 2014年4月10日

フィナーレ 2014年12月31日

主催: 道後温泉本館改築120周年記念事業実行委員会

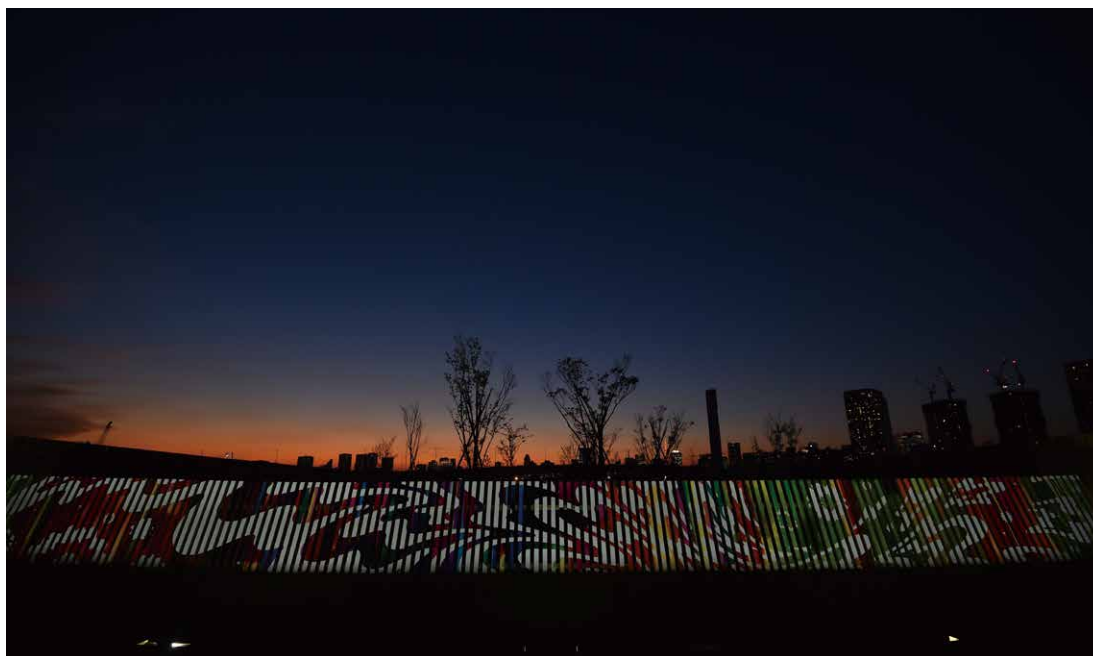
特別協賛: 全日本空輸株式会社、じゃらん、株式会社資生堂、株式会社ビームス

協賛: 日本航空株式会社、楽天株式会社、株式会社一六本舗、伊予銀行、愛媛銀行、愛媛信用金庫、株式会社ワコール、株式会社愛媛ジェーシービー、伊予鉄道株式会社、サントリービシア&スピリッツ株式会社、セキ株式会社、株式会社 エス・ビー・シー、えひめリビング新聞社、株式会社ハタダ

www.dogoonsenart.com



新豊洲エリア開発ブランディング



スパイラルは開発が進む新豊洲エリア（豊洲6丁目）のブランディングディレクションを請け負っています。

「心と身体の両面から考えるコミュニティづくり」をめざす新豊洲エリアでは「SPORT×ART」（スポーツバイアート）を活動テーマとし、市民にひらかれたスポーツコミュニティを指向するとともに、デザインやテクノロジー、環境意識や生活文化まで包括し、アートを広義に捉えたライフスタイルを発信していきます。

2014年9月には「SPORT×ART」活動の一環として、ニューヨークで活動中のアーティスト、曾谷朝絵によるアートフェンス「風の色」が江東区豊洲6丁目に設置されました。2015年初夏より一般公開を予定しています。

Shin-toyosu Area Development Branding

Spiral directed the branding for the area development around Shin-toyosu Station (where Tsukiji Market will be relocated) according to the core concept of "Sport x Art."

Spiral's plan involved strategizing human-centric branding from the dual themes of sports and culture. The plan also engaged with how the area will evolve in the run-up to the 2020 Olympics. The proposal delivered development that is innovative, popular and dynamic, presenting a new face for Tokyo through the neighborhood.

Period: December 2013 – March 2014

(plan for next fiscal year and the 6 years from April 2014 to the 2020 Olympic Games)

Venue: Shin-toyosu area

(bayside district with Tokyo Olympic venues and related facilities)

期間：2014年4月～約6年間

場所：新豊洲（豊洲埠頭）エリア

（東京オリンピックの会場・関連施設が展開される湾岸エリア）

写真：益田佑一



1

© 427FOTO

象の鼻テラス — ポート・ジャーニー・プロジェクト、スマートイルミネーション横浜 他 —



© AMANO STUDIO



© AMANO STUDIO



象の鼻テラスは、横浜市・開港150周年事業として、2009年6月2日に開館しました。

象の鼻パーク内にアートを兼ね備えたレストハウスとして整備され、「文化芸術創造都市クリエイティブシティ・ヨコハマ」を推進する横浜市文化観光局の委託により運営しています。

多彩な来場者層に向け、アート、パフォーミングアーツ、ワークショップなど様々なジャンルの自主プログラムを随時開催するほか、併設した象の鼻カフェでは、文化プログラムに連動したメニューの提供等も行っています。

Zou-no-Hana Terrace

Zou-no-Hana Terrace opened on June 2nd, 2009 as part of the 150th anniversary celebrations of the opening of the port of Yokohama City. Functioning as a rest house, cafe and art space inside Zou-no-Hana Park, it is operated by Spiral on behalf of Yokohama's Culture and Tourism Bureau in order to promote the "Creative City Yokohama" strategies. Every year the facility hosts a range of programs for a diverse cross-section of visitors, including installations, theater, video, and workshops.

2014年 実施プログラム

- ① 象の鼻テラス5周年記念 ENJOY ZOU-NO-HANA 2014 一象の鼻の遊び方ー 展
Zou-no-hana Terrace 5th Anniversary ENJOY ZOU-NO-HANA 2014
2014.5.31 Sat — 6.2 Mon

象の鼻テラス開館5周年となる6月2日の開港記念日に、本物のゾウ、ランディが登場。Nadegata Instant Party による《エレファント・シャッター・チャンス》では、抽選によって選ばれた市民団体6組が象と記念撮影を行いました。また、5年間で象の鼻テラスが生み出してきた「象」にまつわる作品を一望する「象から見る象の鼻展」や、横浜フランス月間にあわせてフランスの食文化を体験できるマルシェ「PORT KITCHEN」などを実施しました。

- ② 東アジア文化都市2014 スマートイルミネーション横浜2014
- ③ Smart Illumination 2014 PRIMARY LIGHT
2014.10.30 Thu — 11.3 Mon

2014年は「東アジア文化都市2014横浜」の一貫として開催。中国、韓国から計11組のアーティストを招いたほか、アワードでも海外からの出品を募集しました。また2012年から「スマートイルミネーション新治」を開催している緑区に加え、金沢区、鶴見区、泉区でも本事業を開催、各区の特性に応じた夜景演出を試みました。

- ④ ポート・ジャーニー・プロジェクト ディレクターズミーティング横浜
2014.9.12 Fri — 15 Mon

「ディレクターズミーティング」を横浜で初開催。参加都市である横浜、メルボルン、サンディエゴ、ハンブルク、ヘルシンキ、ナント、光州のディレクターおよびアーティストが一堂に会し、トークとディスカッションを中心としたイベントを開催しました。今後も毎年各都市での開催を予定しています。

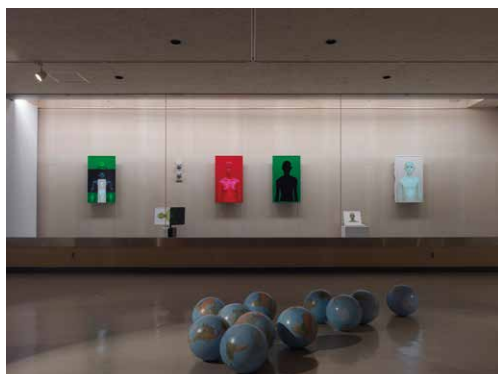


奈良県が推進する「なら記紀・万葉プロジェクト」の一貫として、2014年10月18日～12月14日、奈良県立美術館にて開催されました。

スパイラルは、美術、文献学、考古学など、多分野の専門家が協働した本展において、展覧会全体のテーマと構成を提案し、展示演出の監修を行うほか、序章および第3章の映像制作、第5章の新作アート作品の制作を担当。映像制作には福田泰崇を、現代アート作家として、山口藍、トーチカ、エキソニモの3組を起用しました。国宝を含む貴重な美術品・考古品から最先端の現代アートまで、幅広い内容を含んだ本展は大きな話題を呼び、奈良県が主催する展覧会としては異例となる10万人の来場者を記録しました。

“Daikojiki” Exhibition

This exhibition was held at Nara Prefectural Art Museum from October 18th to December 14th, 2014, as part of the Nara Prefecture Nara KiKi Manyo Project 2012-2020. Spiral proposed the overall direction for the exhibition, which included partnerships with numerous specialists across many fields such as fine art, philology and archaeology. Spiral also created videos for the exhibition, as well as the new artworks featured in one section of the show. Yasutaka Fukuda, Ai Yamaguchi, TOCHKA and Exonemo were commissioned to make the videos. Unusually for the museum, the exhibition encompassed an expansive range of exhibits, from National Treasures to the latest kinds of contemporary art. Public response was also very good, with visitor numbers reaching 100,000.



開催概要

会期：2014年10月18日(土)～12月14日(日)

会場：奈良県立美術館

主催：奈良県、朝日新聞社

共催：NHK奈良放送局、奈良テレビ放送株式会社

協賛：シャープ株式会社

後援：西日本旅客鉄道株式会社、近畿日本鉄道株式会社、阪神電気鉄道株式会社、奈良交通株式会社、株式会社南都銀行、奈良県旅館・ホテル生活衛生同業組合、歴史街道推進協議会

企画協力：株式会社平凡社、株式会社ワコールアートセンター

企画制作：株式会社アサソー ディ・ケイ

写真：市川靖史

語り継ぐココロとコトバ 大古事記展 — 五感で味わう、愛と創造の物語 —



「子どもは街で育てよう」をキーワードに、毎年勤労感謝の日に開催する恒例の「ピノキオプロジェクト」を開催。ららぽーと柏の葉、マルシェコロールなどを主会場に、約400人の子どもがお仕事体験を行いました。

本年度は、ピノキオ卒業生の中高生によるリーディングチームを編成し、企画から運営までいっしょに活動しました。特に8月の夏休みの3日間、11人の中高生と、岩田県山田町まで復興応援ツアーに出かけ、地域の人々と多様な交流を行いました。ピノキオプロジェクト当日は、まちのジオラマ再現や地元製品の販売などをピノキオたちといっしょに盛り上げました。2014年11月23日開催。

Pinocchio Project

The annual Pinocchio Project is held on Labor Thanksgiving Day (November 23rd) in LaLaport Kashiwanoha and Marche Couleur. The idea behind the event is for children to experience working and what it is like to help build society. Around 400 local kids take part and this year there was also a retail team made up of junior high school students who previously participated in the Pinocchio Project. For the 2014 Pinocchio Project local products were sold and a diorama created depicting the Kashiwanoha community. Over three days during the August summer break, 11 junior high schoolers were also taken to Yamada, a town in Iwate Prefecture devastated by the 2011 tsunami, in order to interact with people in Tohoku.



ピノキオプロジェクト

開催概要

開催日：2014年11月23日(日・祝)

会場：柏の葉キャンパスシティ

主催：ピノキオプロジェクト実行委員会2014、柏の葉アーバンデザインセンター(UDCK)、三井不動産レジデンシャル株式会社、三井ショッピングパークららぽーと柏の葉、特定非営利活動法人NPO支援センターちば、株式会社読売広告社、スパイラル/株式会社ワコールアートセンター

後援：柏市、柏市教育委員会

協力：三井不動産株式会社、京葉銀行、千葉銀行、国立がん研究センター東病院、辻仲病院柏の葉、オークビレッジ柏の葉、まちの健康研究所「あ・し・た」、KOIL/柏の葉イノベーションラボ、株式会社ニチレイ、オムロンヘルスケア株式会社、一般社団法人千葉県計量協会、道の駅やまだ、さをり船橋

写真：ピノキオプロジェクト実行委員会

